



健康と温泉フォーラム

第66回月例研究会のご案内

- 主催：特定非営利活動法人健康と温泉フォーラム
共催：非営利団体地域活性学会
非営利活動法人日本スパ振興協会
一般財団法人日本健康開発財団
- 日時：2016年9月26日(月) 13:30~16:40 (受付13:00から)
- 会場：東京文化会館4階大会議室 (JR上野駅公園口前)
- テーマ：「社会保障・福祉制度と温泉—温泉活用の社会化を考える」
- 講演者： 原田啓一郎 (駒澤大学法学部教授)

専門は社会保障法。2002年駒澤大学法学部専任講師に赴任。パリ第1大学にて在外研究に従事(2008~2010年)。研究テーマのひとつとして、健康づくり・介護予防の観点から温泉の利活用の社会化について関心を寄せている。本講演に関する主な論文として、「社会保障制度と温泉」(特定非営利活動法人健康と温泉フォーラム編『温泉実務必携』(平成28年6月発行)所収)がある。

■ 講演要旨： 人々の健康増進と高齢期の医療・介護のあり方をどのように考えていけばよいかという問いは、世界のどの国も経験したことのない超高齢社会を迎えている日本に課された大きな宿題であります。日本には古くから親しまれていた湯治がありますが、これまでの社会保障・福祉制度と温泉のかかわりは、傷病の治癒・機能回復と保険給付の関係で捉える視点为中心で、限定的な状況にありました。しかしながら、今日、伝統的な湯治文化を現在のライフスタイルや価値観から再評価し、温泉を人々のライフステージに積極的に取り込んでいこうとする試みが全国のいくつかの温泉地で始まっており、健康づくり・介護予防との観点から社会保障・福祉制度と温泉の新たなかかわりを見いだすことができます。当日は、昨年度実施いたしました先進的な取り組みを行う温泉地での視察のご報告とともに、温泉の利活用の社会化に向けた視点を提示しながら、皆様とともに温泉の利活用の社会化の可能性を考えてみたいと思います。

■プログラム (予定)

1300	受付
1330~1340	講師紹介、議題背景説明(司会者)
1340~1500	講演
1500~1520	休憩
1520~1630	ディスカッション 質疑
1630~1640	まとめ 閉会

■定員 70名

■参加費 2,000円(会員:健康と温泉フォーラム、地域活性学会、日本スパ振興協会、日本健康開発財団)
3,000円(一般) 無料 (学生・報道関係者)
当日受付でお支払いください。

■お申込み・お問い合わせ

NPO法人健康と温泉フォーラム事務局までE-mailまたはFAXにてお申込みください。定員先着40名とさせていただきます。

E-mail info@onsen-forum.jp TEL&FAX 03-6804-8575



E-mail info@onsen-forum.jp Fax 03-6804-8575

NPO法人健康と温泉フォーラム事務局宛

参加申込書 (各□に✓をお願いします)

第66回月例研究会 (2016年9月26日 (月)) に出席します。

●お名前 (複数可)

●所属会員 健康と温泉フォーラム 地域活性学会
 日本スパ振興協会 日本健康開発財団

●団体名

●住所 〒

●連絡先 TEL

FAX

E-mail

携帯☎



東京文化会館

〒110-8716 東京都台東区上野公園5-45

☎ 03-3828-2111(代) FAX 03-3828-6406 www.t-bunka.jp